

## 2) 第2回調査(平成27年2月10日実施)

### (a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-21に示した。調査日当日には1.0mmの降雨しか確認されなかったため、平常時の陸域調査として実施した。

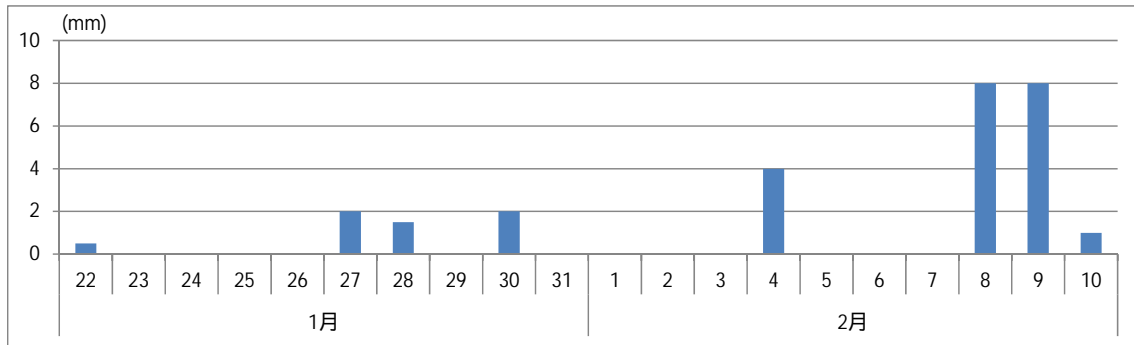


図 4.4-21 調査日前20日間の降雨状況(東観測所)

(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図 4.4-22 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

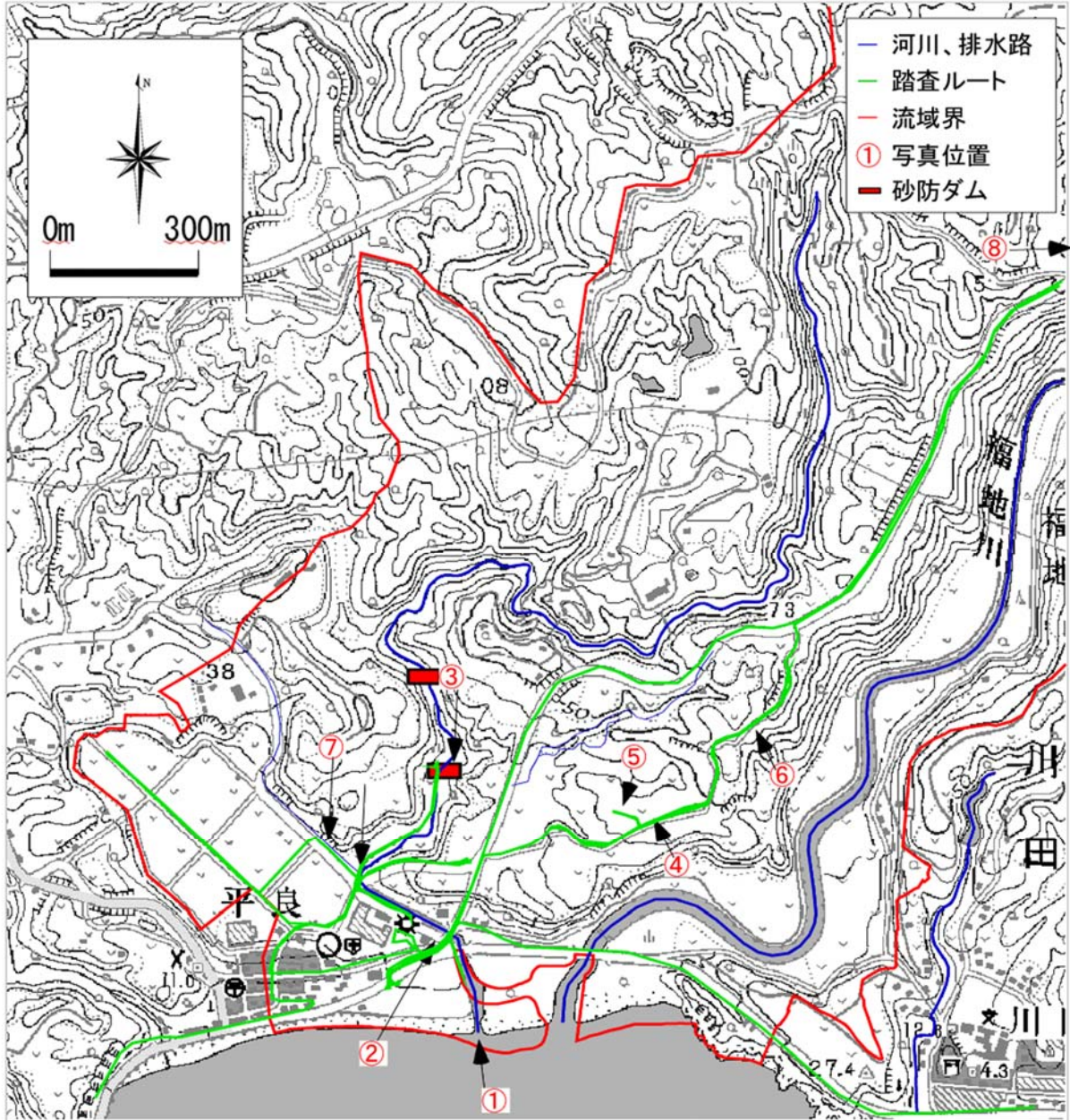


図 4.4-22 平良川河口 陸域調査位置図(2回目)



- ・ 河口においては、多少の濁りが確認された(地点 )。また下流河川においても多少の濁りが確認された(地点 )。



地点 河口域(濁り少)



地点 河川域(濁り少)

- ・ 上流の砂防ダム直下において若干の濁りが確認された。H26 年度第 1 回調査時にも確認された砂防ダム直上の土砂が懸濁した濁水であると考えられる。



地点 砂防ダム付近の状況



地点 砂防ダム越流(直上に堆積土砂あり)

- ・ 流域内にはパイン畑等が広がっており、H26 年度第 1 回目調査時同様、裸地がむき出しになり流出源となりうる箇所が複数見られ、道路への流出状況や谷への流出状況が確認された(地点 )。



地点 道路への流出痕(1 回目地点 )



地点 パイン畑横の裸地(1 回目地点 )





地点 カンガルーポー栽培(1回目地点)



地点 カンガルーポー栽培横の谷への流出(1回目地点)

- ・一昨年度に確認された土砂崩れ箇所においては、H26 年度第 1 回調査時同様大型土嚢が設置されており、また流出対策も確認され、河川への流出は今回も確認されなかった。



地点 土砂崩れ箇所対策(1回目地点)

- ・福地川上流では、土砂崩れが発生しており、その補修工事が行われていた。工事も進んでおり、今後赤土流出の可能性は無いと考えられる(地点)。



地点◎ 土砂崩れ箇所対策



地点◎ 土砂崩れ箇所対策看板

(5) 慶佐次川河口

1) 第1回調査(平成26年5月13日実施)

(a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-23に示した。調査日当日には21.5mmの雨が降ったことから、降雨時の陸域調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-24に示した。

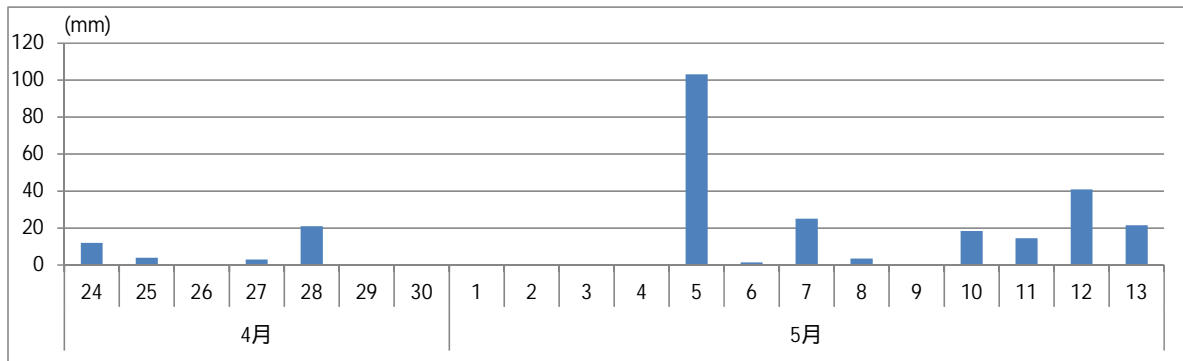


図 4.4-23 調査日前20日間の降雨状況(東観測所)

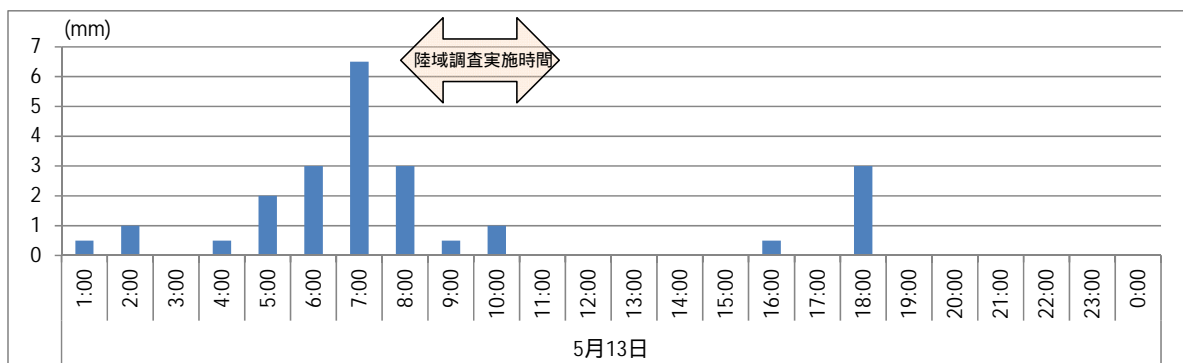


図 4.4-24 踏査当日の降雨状況(東観測所)



(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-25 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

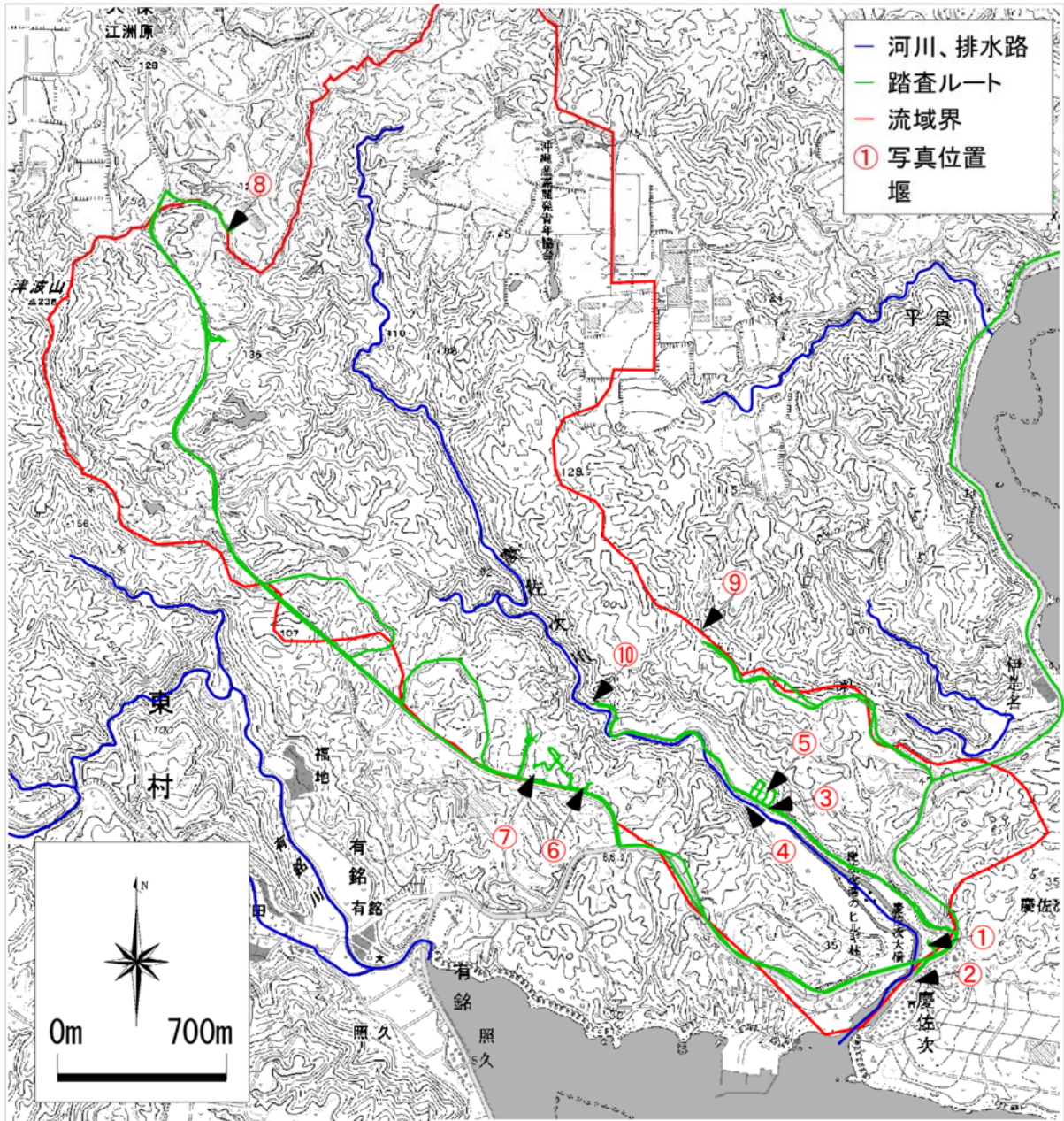


図 4.4-25 慶佐次川河口 陸域調査位置図(1回目)

- ・ 河口においては、濁りが確認された(地点 )。



地点 河口域(濁りあり)



地点 河口域(濁りあり)

- ・ 昨年度において濁水流出が確認された中流のオオバギ畑においては、今回、河川への濁水流出状況は殆ど確認されず(地点 )、その上流から濁水が流下していた(地点 )。
- ・ また、地点 において濁度を測定すると 68.4(度)程度であった。
- ・ なお、地点 より上流はアクセスできず、流出源は特定できなかった。



地点 オオバギ畑からの支流(濁り小)



地点 中流域(濁りあり)



地点 採水状況



- ・ 現在、オオバギ畑内の裸地部分には雑草等が茂っており、裸地面積が殆ど無くなった(地点 )ことが、本畑からの流出を減少させた要因であると考えられる。



地点 雑草で裸地がなくなったオオバギ畑



地点 オオバギ畑横水路(濁り小)

- ・ 昨年度確認した大規模な造成裸地においては、法面緑化や沈砂池造成等の流出対策が実施されており、流出可能性は大きく減少したと考えられる(地点 )。
- ・ なお、面積は110m×40m程であるが、昨年度同様、赤土条例にかかる看板等は確認されなかった。



地点 法面緑化による改善



地点 沈砂池造成



地点 昨年度の状況



地点 昨年度の状況



- ・また、同じく昨年度において確認された大規模な裸地においては、依然として裸地が広がっていたが、一部法面緑化等が行なわれており、改善状況が確認された(地点 )。
- ・面積は80m×50m程であるが、昨年度同様赤土条例にかかる看板等は確認されなかった。



地点 造成裸地が広がる。



地点 法面緑化状況



地点 昨年度の状況

- ・昨年度第1回調査において確認された裸地を含んだ畑等からの流出箇所は、地点 については、昨年度第2回調査においてはキクが栽培され流出可能性が減少したが、現在は裸地となっており再び流出可能性が増大した。また、地点 については、前回と同様流出可能性が高い状況であった。



地点 前回確認流出箇所



地点 前回確認流出箇所

## 2) 第2回調査(平成27年2月10日実施)

### (a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-26に示した。調査日当日には1.0mmの降雨しか確認されなかったため、平常時の陸域調査として実施した。

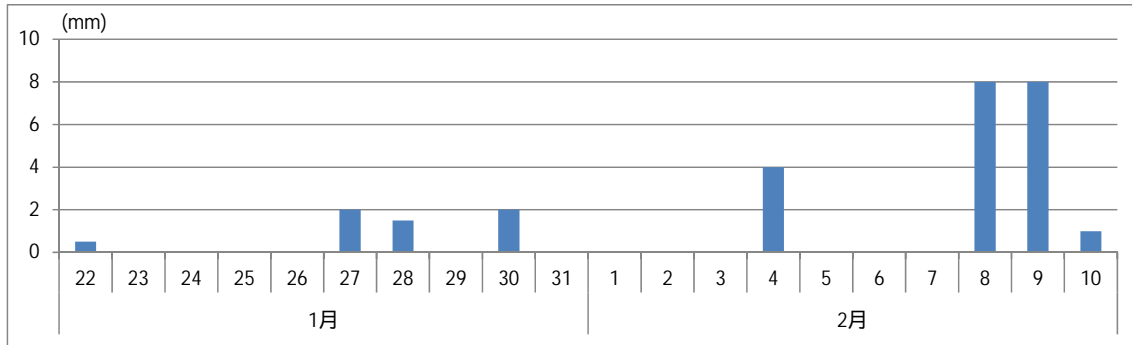


図 4.4-26 調査日前20日間の降雨状況(東観測所)



(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-27 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

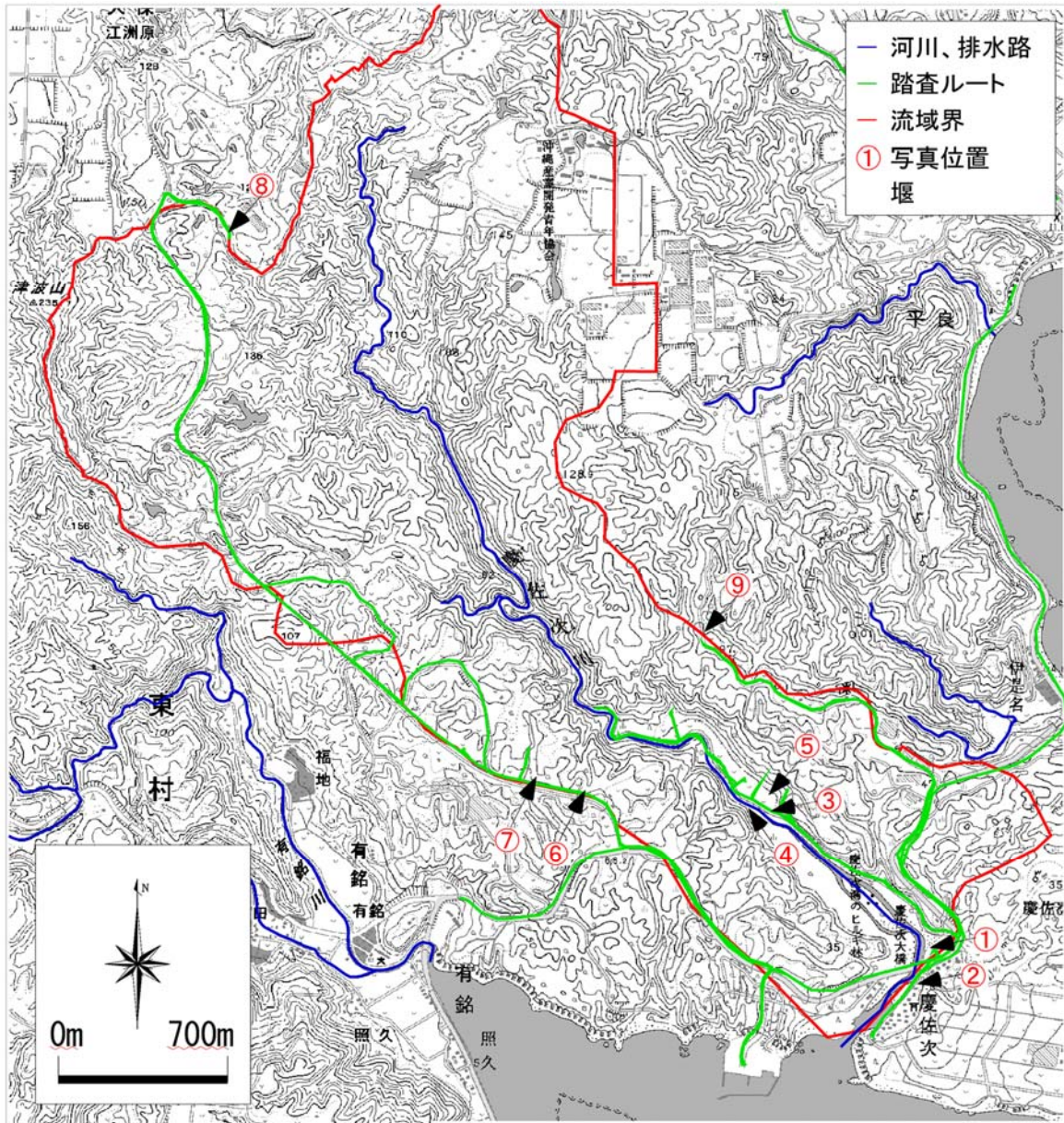


図 4.4-27 慶佐次川河口 陸域調査位置図(2回目)



- ・ 河口においては、濁りは確認されなかった(地点 )。



地点 河口域(濁りなし)



地点 河口域(濁りなし)

- ・ 昨年度において濁水流出が確認された中流のオオバギ畑からの濁水流出は確認されなかった(地点 )。
- ・ また、地点 においても、濁りは確認されなかった。



地点 オオバギ畑からの支流(1回目地点 )



地点 中流域(濁りなし)(1回目地点 )

- ・ 昨年度赤土流出の原因の1つとされたオオバギ畑付近には、赤土流出の可能性のある裸地が確認された(地点 )。既に茂っている草本の増減により、流出の可能性は大きく変化すると考えられる。



地点 雑草で裸地がなくなったオオバギ畑



- ・ 昨年度確認した大規模な造成裸地においては、H26 年度第 1 回調査時と比べて、草本による裸地の減少により、さらに赤土流出の可能性は減少した(地点 )。

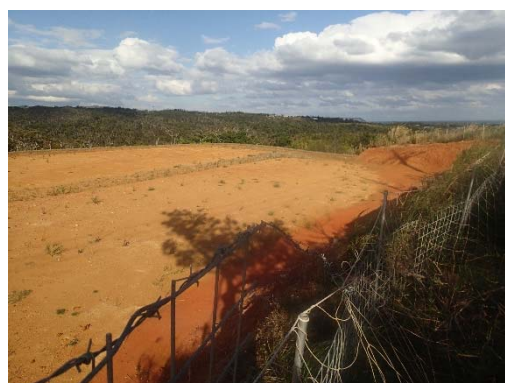


地点 法面緑化による改善(1 回目地点 )

- ・ また、同じく昨年度において確認された大規模な裸地においては、地点 を含んだ大型の農園として整備されており、周囲を鉄柵で囲われていた。農園内へは入れなかったため、H26 年度第 1 回調査時以降の地点 状況は不明である。



地点 農園のゲート状況(1 回目地点 )



地点 鉄柵の状況

- ・ H26 年度第 1 回調査時に裸地が確認された地点 では、キクが栽培されており、赤土流出の可能性が減少した。また、地点 については、前回と同様流出可能性が高い状況であった。



地点 前回確認流出箇所(1 回目地点 )



地点 前回確認流出箇所(1 回目地点 )

## (6) 漢那中港川河口

### 1) 第1回調査(平成26年6月11日実施)

#### (a) 降雨状況

調査日前20日間の降雨状況を図4.4-28に示した。調査日当日には33.5mmの雨が降ったことから、降雨時の陸域調査として実施した。また、調査当日の毎時雨量を図4.4-29に示した。

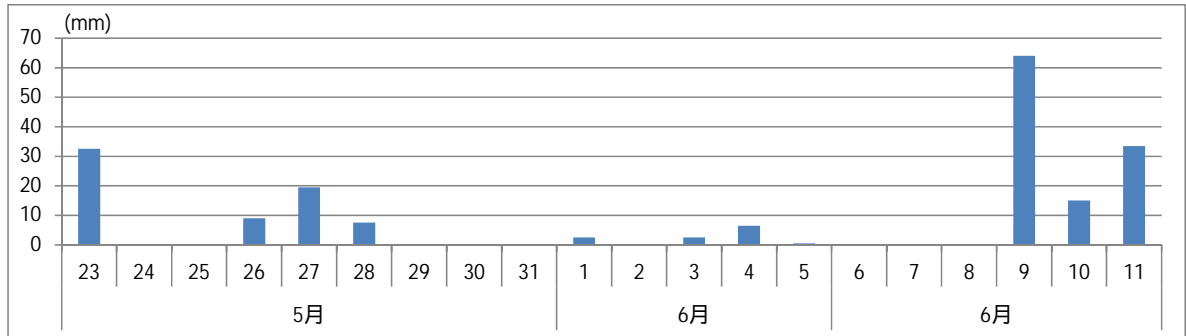


図 4.4-28 調査日前20日間の降雨状況(宮城島観測所)

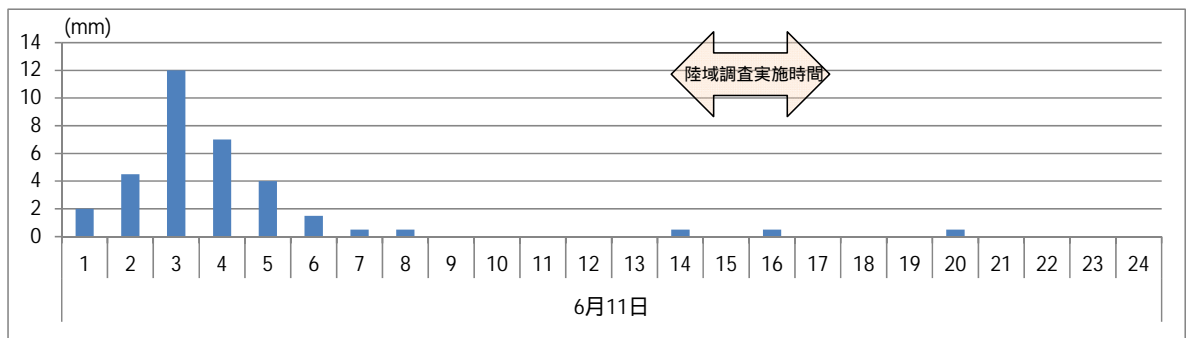


図 4.4-29 踏査当日の降雨状況(宮城島観測所)



(b) 流域内状況

陸域調査時の各種位置図を図 4.4-30 に示した。

また、次ページ以降、図内の地点位置の内容について、写真と共に詳細を述べた。

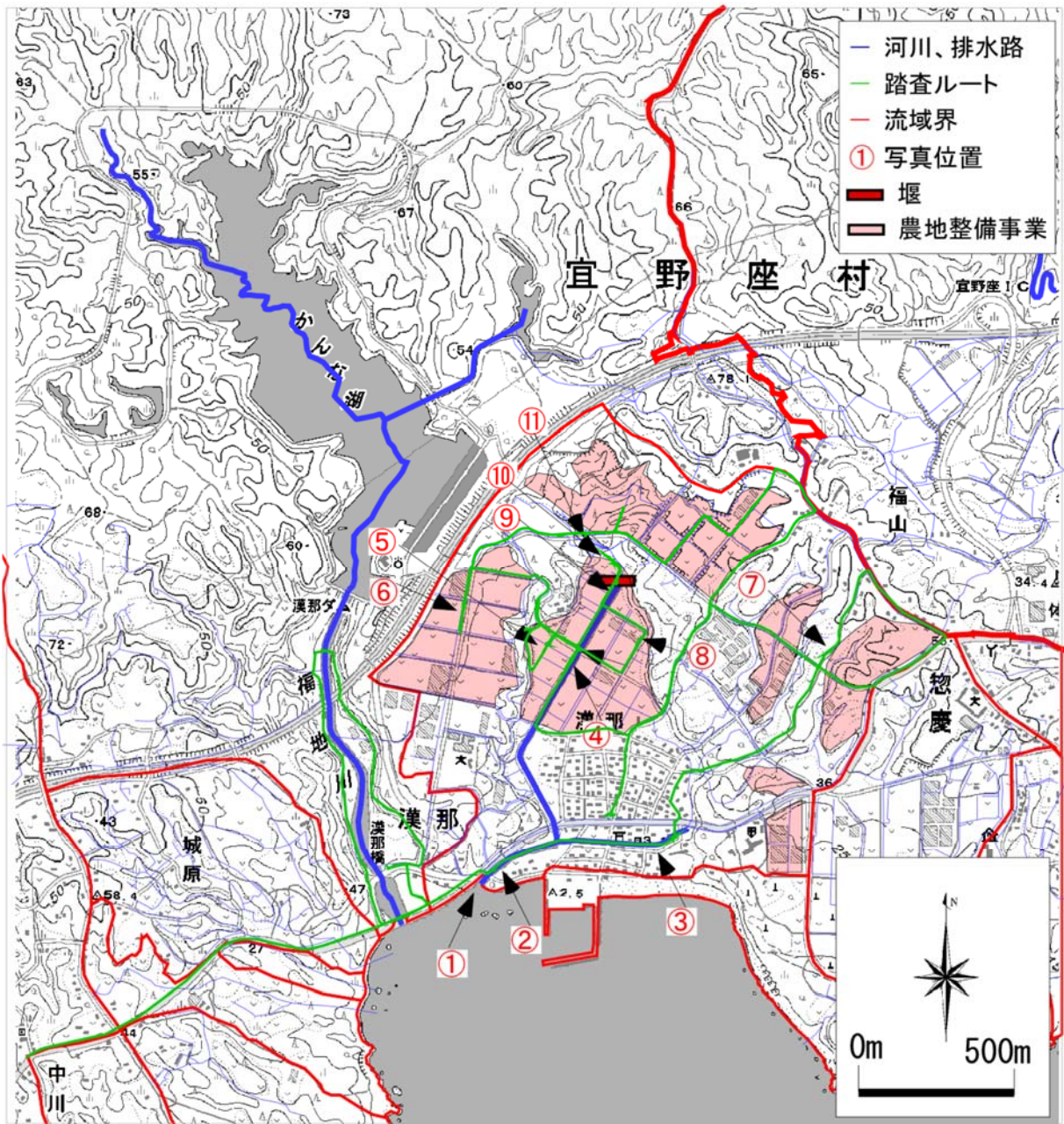


図 4.4-30 漢那中港川河口 陸域調査位置図(1回目)

- ・ 河口部で著しい濁りが確認された(地点 )。



地点 河口域(濁り多)

- ・ また、下流域の河川においても著しい濁りが確認され(地点 )、周辺からの排水路においても濁水が本川に流れ込んでいた(地点 )。



地点 下流部(濁り多)



地点 下流部(濁り多)



地点 周辺から濁水流入)



- ・ 圃内には、裸地を含むさとうきび畑等から水路への著しい濁水の流出が複数の地点で確認された(地点 )。採水したところ、地点 の暗渠排水出口においては濁度 790.0(度)、地点 の水路内においては濁度 376.0(度)であった。



地点 畑から水路への流出



地点 採水



地点 畑から水路への流出



地点 採水

- ・ 前年度に確認された流出可能性が高い箇所の内、排水路造成に伴う裸地部分においては、工事は終了しており、流出可能性は著しく減少した(地点 )。



地点 改善状況



地点 昨年度の状況

- ・また、前年度において確認された、畑端のブロックが取り外された部分についても、新たにブロックが取り付けられており、流出可能性は減少した(ただし、ブロックの上から流出はしていた) (地点 )。



地点 改善状況

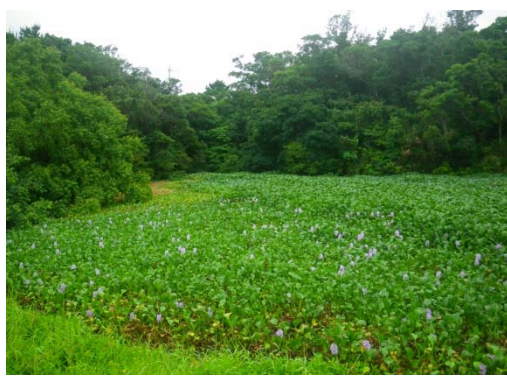


地点 昨年度の状況

- ・中流域には堰があり、濁水が越流していた(地点 )。
- ・堰直上は、前年度同様、ホテイアオイが繁茂しており水面状況を確認することができなかった(地点 )が、多量の赤土等が堆積した滞留水であると考えられる。また、そのさらに上流の沈砂池においても、前年度同様著しい濁りが確認された(地点 )。



地点 堰から濁水が越流



地点 堰直上(ホテイアオイが繁茂)



地点 沈砂地